

## 「CEO、COO」

日本で逮捕され拘留が続くカルロス・ゴーン氏は去る1月、フランス・ルノー社の会長兼最高経営責任者（CEO）を辞任しました。フランス政府の意向もあったようです。ところで、日本でも「社長」などではなく、CEOなど英語での役職名（肩書）を聞くようになって久しい感じがします。「CEOは会長や社長とは違うのかな？」などと感じておられる方も多いのではないのでしょうか？

### 1. 米国型企业経営形態における役職名である「CEO、COO」

米国では、企業の「所有」と「経営」が明確に分離されています。すなわち、企業のオーナーで株主の代理人である「取締役会」が、「最高経営責任者」を意味する「CEO（Chief Executive Officer）」を任命、CEOが経営方針を策定するなど企業経営を行います。その経営方針に基づき、実際に業務を遂行するのが「最高執行責任者」を意味する「COO（Chief Operating Officer）」です。COOの下に、財務部門や管理部門、営業部門などの各専担部門が設けられ、業務を遂行します。

日本の会社法では、会社に必要な機関として「代表取締役」「取締役」を定めるのみで、「CEO」は「会長」や「社長」などと同様、社内の呼称にすぎないため、わが国でいつから使われ始めたかは定かではありませんが、ソニーが1997年に「執行役員制度」を導入し話題となりました。2000年ごろからCEOなどの肩書が多くみられるようになったといわれています。当時、わが国において企業活動のグローバル化が進み、他国企業との交渉が頻繁に行われるようになると、英語で社長を表す「President」では権限の範囲が不透明で、交渉相手として不十分であるとみなされる可能性が出てきたことなどがその理由と考えられます。

### 2. 真ん中の一文字が重要！「C☆O」

米国型企业経営形態における肩書には、CEO、COO以外にもありますが、いずれも「C☆O」の3文字に略され、真ん中の一文字が具体的な担当内容を表します。日本において、たとえば「部長、副部長、部長代理」のように、前後に文字が付く・付かないで区別するのは違っており、大変興味深いです。

図表：米国型の主な肩書（CEO、COOを除く）

略称	正式名称	内容
CFO	Chief Financial Officer	最高財務責任者
CLO	Chief Legal Officer	最高法務責任者
CMO	Chief Marketing Officer	最高マーケティング責任者
CAO	Chief Accounting Officer	最高総務責任者
CTO	Chief Technical (Technology) Officer	最高技術責任者

## 閑話ひとつ

- ▶ 福島市郊外の団地にある自宅から10分ほど歩けば、吾妻・安達太良を望むのどかな田園風景が広がり、近くには2つの大学キャンパスもあってウォーキングには恵まれた環境です。
- ▶ 身近な自然にいち早く季節の移ろいを感じ、点在する祠や小さな仏堂に心が癒されます。また途中で出会った人たちと交わすあいさつや作業中の農家の方との立ち話も心地良いものです。
- ▶ マイカーの力を借りて少し足を延ばせば、平成7年福島国体の時に整備された施設がレガシーとして生かされているあづま総合運動公園と四季の里周辺、旧福島高等商業時代の名残をとどめ落ち着いた佇まいの県立美術館・図書館周辺そして信夫山など。
- ▶ 街なかでは福島市制80周年記念事業として設置された多くのブロンズ像を始め、そこかしこに置かれた何気ないオブジェがそれぞれの個性でまちの空気を変えており、巡るのが楽しみです。
- ▶ 福島市では「風格ある県都」を目指して賑わいの施設や図書館などハードの整備が進められようとしています。人の「風格」や「品格」は自然ににじみ出てくるものと言われます。「都市の風格」もそこに住む人の土地への思い入れや愛着などがにじみ出てくるものではないのでしょうか。 (YM)